

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 661 号	氏名	Le Xuan Luat
学位審査委員	主査 山城 哲 副査 平山 謙二 副査 安田 二郎		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、分離したダニ媒介性脳炎ウイルス (TBEV) の各種変異ウイルスを用いて病原性発現機序を分子レベルで明らかにする事、およびベトナムにおける日本脳炎 (JE) および Echo30 ウイルス (E30) 性髄膜炎/脳炎の臨床症例を後方視的に調査して臨床症状および各種検査所見の差異を比較解析し、臨床鑑別診断に利用可能な指標を探索しようとするものであり、動機や目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>TBEV の Oshima 5-10 株由来変異株の病原性を C57BL/6j (B6) マウスを用いて評価し、その結果をアミノ酸変異と併せて解析する研究手法、およびベトナムにおいて JE および E30 性髄膜炎/脳炎と確定診断された症例に関して臨床および検査所見を後方視的に調査し、統計学的解析を行った研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>変異 TBEV ウイルスの E タンパク上に見られた Glu₁₂₂→Gly 変異は、細胞表面への結合性を減弱させることで病原性を低下させた可能性がある事、およびベトナムなどアジアの開発途上国の限られた医療環境下で、JE および E30 性髄膜炎/脳炎の鑑別診断を改善するためには、患者が示す三徴候 (発熱、頭痛、嘔吐)、および神経症状 (痙攣、意識変容) の有無、脳脊髄液中の白血球数が重要な指標となりうる事を示した。</p> <p>本研究は TBEV の病原性発現機序の解明、およびアジア諸国等における JE および E30 性髄膜炎/脳炎患者の鑑別診断の改善に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			